

～～第8702回～～

棚横手山

～R1. 6. 8～

前日に東海地方は梅雨入りしたと気象庁の発表があり、天候を心配したが車3台で勝沼ICを目指す。大滝不動から棚横手山、甲州高尾山までの行程を、霧に包まれた幻想的な雰囲気の中を大滝不動山門から石段を登り、社務所、本殿と進む。その裏側に落ちている大滝は見えない。東屋の建つ展望台から大滝林道に戻り、富士見台登り口の標識を確認し稜線に出る。度重なる山火事に見舞われ、今なお傷あとが数多く残る不運の山である。平らな尾根に出ると、ひと登りで三角点のある棚横手山(1306m)山頂に着く。眼下に甲府盆地の景観を楽しみ、小休止後大滝山(1362m)へ向かう。山頂手前で数多くのツツジを見る。山頂は展望もなく、花で良い印象を持てたかなと思う。富士見台の分岐まで戻り、甲州高尾山へのルートに登る。植林されたヒノキが伸びるまでは展望は楽しめる。昼食後、緩やかなアップ、ダウンを繰り返し進むと大滝不動からの登山道に合流する。最後の小さなピークを登りきると甲州高尾山山頂に出る。休憩後、先程の分岐に戻り大滝不動に向かう。昨年の台風の影響か倒木も多く荒れた登山道を足元に注意し慎重に降りる。下山途中、水量はそれほど多くは無いが、朝は見えなかった落差140mの大滝の景観を楽しみ無事山門を出る。

参加者：15名（静岡西）

天気：曇りのち晴れ

地図：大菩薩・笹子・石和・塩山

コースタイム：駐車場 810…富士見台 900…棚横手山 930…大滝山 1000…昼食 1100-35…甲州高尾山 1200…分岐 1300…大滝不動尊 1330

記録：静岡西支部 増田